

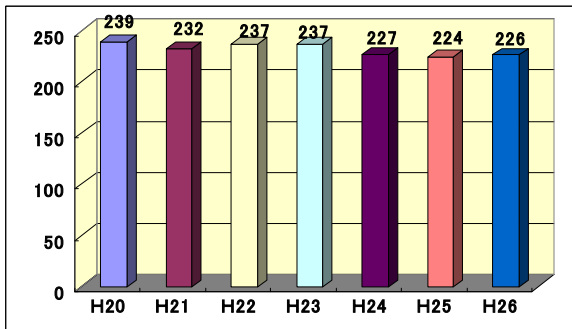
# 北広島団地内小学校の適正配置について

(広葉小学校区説明会資料)

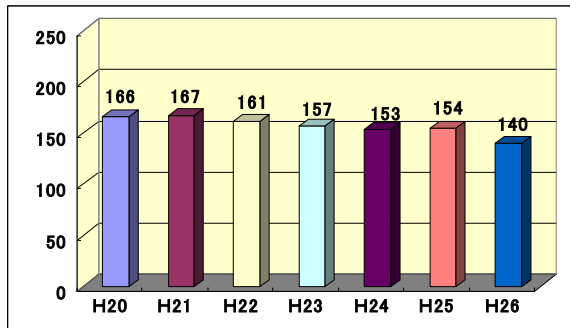
北広島市教育委員会

# 1、児童数・学級数の推移

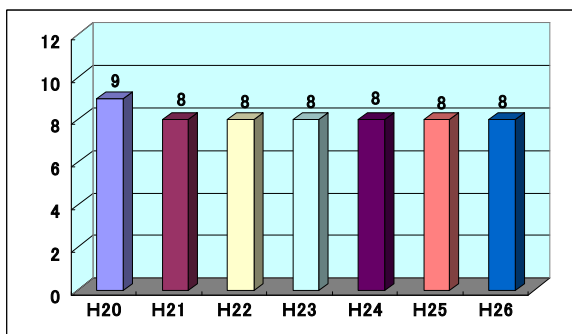
## 広葉小学校の児童数の推移



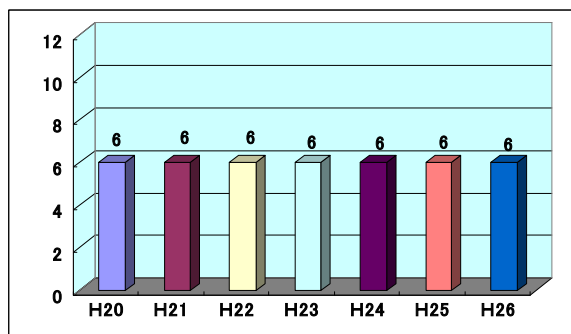
## 若葉小学校の児童数の推移



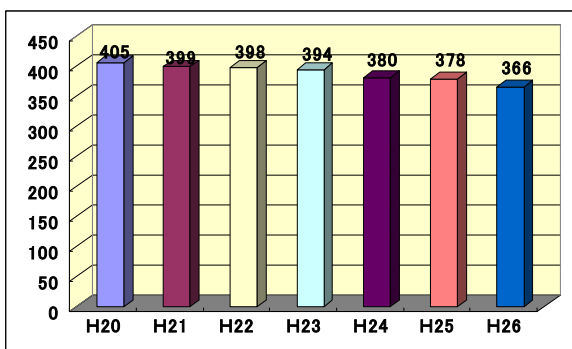
## 広葉小学校の学級数の推移



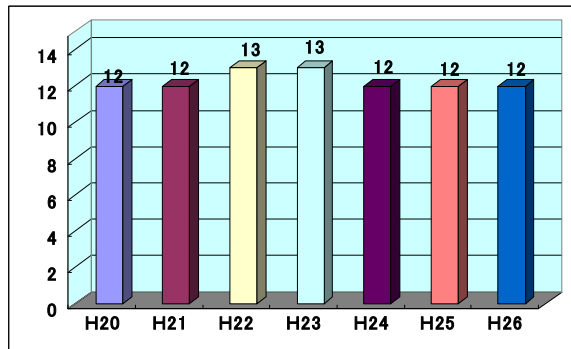
## 若葉小学校の学級数の推移



## 統合後の児童数の推移



## 統合後の学級数の推移



## 新入学児童数の推移

(平成20年5月1日現在の住民基本台帳による)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
広葉小学校	35	39	48	43	26	33	37
若葉小学校	27	27	28	21	26	25	13
統合した場合	62	66	76	64	52	58	50

## 2、小規模校の課題点等

### ①教育活動上

- \* 多様な授業方法を選択するにしても限界がある。
- \* 児童会活動等で、役員の選択の幅も狭くなり、活動に支障がでてくる場合がある。
- \* 良い意味での競争意識を醸成することが困難である。

### ②生徒指導上から

- \* 人間関係の固定化、役割化が進み、人間関係の幅を広げられにくくなる。

### ③学校運営上などから

- \* 1学年1学級であることによって、担任同士の打合せや相談・交流がなく、教師の相互研修による実践的な指導力が高めにくなる。
- \* 小規模化に伴い、教職員数も減少することから、複数の教師と子どもの触れ合いの機会が減少し、教師が様々な角度から子どもを理解することができにくくなる。

## 3、適正な学校規模、適正配置に対する教育委員会の考え方

＝ 北広島市立小学校及び中学校通学区域審議会の答申を基に ＝

- 小学校の学校規模については、特殊学級を除き、12学級から24学級までを基本とする。
- 北広島団地内の小学校の新たな適正配置について、広葉小学校と若葉小学校を統合し、その後に使用する校舎については若葉小学校が望ましいと考える。

#### 4、若葉小学校が望ましいとする理由

前提： 検討項目を定め校舎の状況などを比較



- \*使用可能な教室数において広葉小学校、若葉小学校に差は認められない。
- \*両校を併せた校区の中で位置関係をみると、両校とも比較的校区の端の方に位置しているため、使用する校舎を選定する要素としては大きくないと考えられる。
- \*広葉小学校は敷地の関係から複雑な構造となっているため、利便性、児童の安全管理の面で若葉小学校が優れていると考える。
- \*若葉小学校は、敷地が平坦で、敷地面積も広く、学校周辺の自然環境においても恵まれており、グラウンドの状態も広葉小学校より良好である。

#### 5、教育委員会の考え方と説明会において出されている意見・質問・要望

##### ①【通学距離・通学時間に関して】

＝ 教育委員会の考え方 ＝

今回の統合につきましては、通学距離が2 kmを超えない範囲で組合せを考えております。広葉小学校区から若葉小学校に通学する場合、最大で1.7 km程度であり、児童に大きな負担を与える距離ではないと考えております。

##### 【説明会で出された意見等】

- 通学距離が倍近くまで伸びることになり、子どもにとってはかなりの負担となります。それが、子ども達にとって良い環境といえるのでしょうか。
- 遊歩道を通学路とするのは危険性は少ないと思いますが通学時間がかかります。2 km以内なら、時間がいくらかかっても問題はないと考えているのでしょうか。
- 集団登校とかバスや自転車を使うということは考えていないのですか。
- 小学校まで35分かかるが、頑張れば何とかかなるかなと思って家を選んでいました。それを若葉小学校になったから今度は1.8 km通えと言われても納得できません。

## 周辺市町村の通学距離に関する考え方

	小 学 校	中 学 校
国	4km以上を遠距離通学者とする	6km以上を遠距離通学者とする
札幌市	徒歩通学は概ね2km以内とする	徒歩通学は概ね3km以内とする
江別市	特に定めはないが、学校適正配置検討懇談会では国の基準（小4km、中6km）以上のことは言っていない	
千歳市	特に定めていない	
恵庭市	特に定めていない	
石狩市	特に定めていない	
当別町	特に定めていない	
長沼町	3km以上を遠距離通学者とする	5km以上を遠距離通学者とする
北広島	徒歩通学は概ね2km以内とする	徒歩通学は概ね3km以内とする

### ②【通学時の安全に関すること】

#### ＝ 教育委員会の考え方 ＝

通学時の安全確保のため、現在、保護者・地域の方々のご協力を得てパトロールや交通指導などが行われております。今後も、児童の安全は、保護者・地域の方々のご協力を得て図られていくと考えております。

ただ、新たな通学路の安全確保のため、パトロール員を配置し、その具体的な配置方法につきましては、統合と決定されたあと組織される開校準備委員会（仮称）の中で、協議していきたいと考えております。

#### 【説明会で出された意見等】

- 若葉小学校ではなく、むしろ広葉小学校に統合することによって、通学路の安全性が確保されるのではないのでしょうか。
- トリムコースは、朝は人も少なく夜は暗いので、トリムコースを通学させるのは保護者として不安です。
- 広葉町の緑道は暗く、子どもを1人で毎日通わせるには不安があります。
- なるべく近い学校に通学させたいと考えています。校舎選定の理由は、遠い学校に通学させてまでの代償としては理解できません。
- 安全面を確保できるような具体的な考えをもっと示していただきたいと思います。

### ③【校舎選定に関すること】

#### ＝ 教育委員会の考え方 ＝

校舎を選定するために広葉小学校と若葉小学校の現状を比較し、両校の地形、それに伴う校舎の配置や構造等について協議が行われ、児童が毎日生活する場、教育環境としてどちらの校舎が優れているかという観点から、方向性を示したものであります。

#### 【説明会で出された意見等】

- 広報に広葉小学校はスロープがあり安全性が懸念されます、という表現があります。安全性が心配されているのであれば、まず統合の前に改善して、子どもたちが安全に登校できるようにしていただきたいと思います。
- 子どもたちの立場、子どもたちの総合的な教育環境を考えると、広葉小学校の中にある学童保育を考慮しないことはおかしいと思います。
- 広葉小の人数が多いのに、若葉小に通学しなければならないというのは、他の町とは逆の原理ではないでしょうか。

### ④【クラス数や児童数などに関すること】

#### ＝ 教育委員会の考え方 ＝

今回の統合は、北広島団地内の児童数の減少に伴い、40人学級（1、2年特例35人学級）という現行制度のもとで検討を行いまとめられたものです。児童数および学級数は、年度によって増減いたしますし、市独自で学級の基準を定め、学級編成を行うことは難しいものと考えております。

#### 【説明会で出された意見等】

- 1クラスの人数を減らして、複数学級にすることはできないのでしょうか。
- これから少子化が進んでいくのは間違いないと思います。そうした中で、従来の多人数の教育方法は考えなおすべきではないのでしょうか。
- 小中一貫校に統合すべきではないのでしょうか。
- 小学校は、1学年1学級でも問題がないと思います。児童が、1学年5、6人になったら考えてあげれば良いのではないのでしょうか。

## ⑤【通学区域の見直しに関すること】

＝ 教育委員会の考え方 ＝

現行の通学区域は、通学距離や地域のつながりなどを考えて定められており、地域に定着している事情などから、新たに通学区域を見直しすることは考えておりません。ただし、区域外通学につきましては、弾力的に対応していきたいと考えております。

\*北広島市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則施行細則の第2の(10)、「その他、通学上の条件等教育長が特に止むを得ないと認める事由により、必要な期間に限り通学を申し立てる場合」に該当するものとして、保護者の方から申し出があれば、区域外就学を認めたいと考えております。

【説明会で出された意見等】

- 通学区域について、市全体あるいは市街地全体の通学区域の見直しを考えなかったのでしょうか。
- 北進町の児童は、東部小学校に通学するということはできないのでしょうか。

## ⑥【適正規模に関すること】

＝ 教育委員会の考え方 ＝

現在、小規模校で行われている教育を否定しているわけではありません。ただ、小規模校、特に一学年一学級では、クラス替えができないといった課題があります。また、人間関係が固定化されやすくなったり、多様な授業方法を選択しようとしても限界があります。教師にとっても、学年打ち合わせができないといった問題点があります。こうした、課題を克服し、子どもたちにとって、よりよい教育環境を整備していくため、統合が望ましいと考えております。

【説明会で出された意見等】

- 12学級から24学級が適当なののでしょうか。なぜ、6学級では駄目なののでしょうか。
- 広葉小学校は、児童数の増加が見込めます。しかし、高台・緑陽小学校は統合しても複数学級を確保することができません。適正規模を確保していくためには、4校を1校にするとか、統合校の組合せを見直す必要があるのではないのでしょうか。

## ⑦【学童保育に関すること】

### ＝ 教育委員会の考え方 ＝

学童クラブについては、1 小学校区に1 学童クラブを配置する方針ではありますが、使用する校舎が決定されましたら保護者の皆様と話し合いながら、学童クラブとして必要な施設環境を整えていきたいと考えております。

### 【説明会で出された意見等】

- 統合した場合、学童クラブはどうなるのでしょうか。

## ⑧【統合までのスケジュールなどに関すること】

### ＝ 教育委員会の考え方 ＝

北広島団地内の小学校が小規模化し、今後も児童数が減少していくと予想されております。教育委員会としては、児童に、より効果的な指導を行っていくため、可能な限り、早期に統合を行い、児童の教育環境を整えていくべきではないかと考えております。

ただし、使用する校舎が決定されたのち、通学路の安全確保や両校の教育課程の調整、また、児童の交流なども実施しなければなりませんので、3年程度は必要と考えております。

### 【説明会で出された意見等】

- 財政的な面から統合を考えていないとすれば、緊急性はないと思います。時間をかけ、全市的に適正配置を検討されて、5年、10年後にしても構わないのではないのでしょうか。
- 何年を目処に統合を考えているのでしょうか。



## ◎【今後の進め方について】

### ＝ 教育委員会の考え方 ＝

これまでに、24回の説明会を行ってきております。広葉小学校区におきましては、通学距離が伸びること、それに伴う通学時の安全の確保、統合後に使用する校舎等について様々なご意見がだされております。

しかし、北広島団地内の児童数の状況等は、4小学校とも同様の傾向を示しており、4小学校の保護者・地域の方々から出された意見を参考に教育委員会で判断していきたいと考えております。

### 【説明会で出された意見等】

- 何をもって理解を得られたとするのでしょうか。理解を得られない場合でも統合に踏み切るということはあるのでしょうか。
- 説明会に参加している人が少ない中で、参加していない人の意見をどのように把握するのでしょうか。統合に関わる子どもを持つ家庭にアンケートを実施していただけないでしょうか。
- 説明会で反対の意見が多く出た場合、統合もしくは、若葉小のことが覆されて全てのことが白紙に戻るということもあるのでしょうか。